

執筆者紹介

遠 藤 乾 (えんどう・けん)

1989年 北海道大学法学部法学士
1991年 北海道大学大学院法学研究科修士号(国際政治)
1992年 ベルギー・カトリック・ルーヴァン大学 M. A(ヨーロッパ学)
欧州連合(EU)委員会・未来工房(Cellule de Prospective)にてインターンののち専門調査員
1996年 オックスフォード大学(セント・アントニーズ・カレッジ)政治学博士号(D.Phil.)
ヨーロッパ大学研究所ロベールシューマンセンター・ジャンモネ研究員(2000-1)
米国 ハーヴァード法科大学院エミール・ノエル・フェロー(2001-2)を経て
現在 北海道大学大学院法学研究科助教授(国際政治)

主要業績

「ポスト主権の政治思想:ヨーロッパ連合における補完性原理の可能性」『思想』No. 945, (2003).
The Presidency of the European Commission Under Jaques Delors: The Politics of Shared Leadership (Basingstoke: Macmillan, 1999).
他多数

川 嶋 周 一 (かわしま・しゅういち)

1999年 北海道大学大学院法学研究科修士課程修了
2002年 パリ第四大学(Université Paris IV, Sorbonne)DEA 課程修了(20世紀・ヨーロッパ国際関係史)
2003年 北海道大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学
2004年 博士(法学) 北海道大学法学研究科
現在 日本学術振興会特別研究員(PD)

主要業績

「冷戦と独仏関係:二つの大構想と変容する米欧関係の間で、1959年 - 1963年」『国際政治』第134号(2003).
「EECの成立と欧州統合史の方法論に関する一考察:欧州共通農業政策の成立との関連で」『現代史研究』第49号(2003).